

平成30年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- | | |
|-----|------------------------------------|
| I | スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び |
| II | マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成 |
| III | スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築 |
| IV | 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成 |
| V | スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成 |

道府県・政令市名【 熊本市 】

1 実践テーマ	【 V 】
2 実施対象者	熊本市立城山小学校 3年生（127名）4年生（123名）5年生（123名）6年生（125名） 保護者（25名）
3 展開の形式	（1）学校における活動 ① 教科名（ ） ② 行事名（○ オリンピック・パラリンピック推進事業 in 城山 ） ③ その他（ ） （2）地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 （ねらい）	オリンピック・パラリンピックに向けた機運醸成を図る。 子どもたちの将来の目標形成とそれに向けた意欲の向上を図る。 保護者等にも呼びかけ、地域ぐるみでオリンピック・パラリンピックの 機運醸成に努める。
5 取組内容	講演会（落合 真理氏） 8：40～ 8：45 入場・講師紹介 8：45～ 9：30 講演「夢に向かって」 9：30～ 9：50 バレーボール実演（子どもたちとともに） 9：50～10：05 質疑応答 10：05～10：10 お礼の言葉・花束贈呈・退場 落合さんは「夢を持つこと」「夢に向かって努力すること」をまず話された。そうして挫折したときのことを話され、「家族の支え」があり、誰かに相談する勇気をもつこと、「仲間のはげまし」があり、仲間の大切さに気づかれたということであった。さらに、氏の好きな言葉「ありがとう」について、心から感謝の気持ちを相手に伝えること、当たり前のことのありがたさに気づき、そこに幸せを感じることを話された。最後に、3C「チャレンジ」「チェンジ」「チャンス」を子どもたち全員で唱え講演をしめられた。 その後、未経験の子どもたちとバレーボールの実演をしてもらった。ト

	スをあげたり、レシーブをしたりして、活動した子どもたちはみんな笑顔であった。質疑応答では、質問が止まず、時間があればまだまだ続くような感じてあった。
6 主な成果	子どもたちが、オリンピック・パラリンピックを身近に感じられるようになったことが一番の成果だと思う。2020年の東京オリンピック・パラリンピックは、熊本の子どもたちは殆どが直接目にする機会は無いと思われ、そこまでなじみのあるものではなかったと思う。しかし、今回の講演会のように、元日本代表選手が、子どもたちに直接語りかけ、実演をしてもらうことにより、子どもたちにとってオリンピック・パラリンピックがすごく身近なものになったことは間違いない。
7実践において工夫した点 (事業の特色)	実演のときに、バレーボール経験者が1人しかいなかったなので、講師の方の計らいで、各クラスから何人かずつ選出し、一緒にバレーボールをできたのはよかった。 土曜授業日の授業参観と一緒に行ったので、保護者にも呼びかけることができた。25人ほど参加していただけた。
8主な課題等	2020東京オリンピック・パラリンピックを紹介するようなDVDがあれば、それを観せておくと、講演会等の趣旨が小学生にはわかりやすいと思う。
9来年度以降 の実施予定	本年同様推進校に選出されたら、講演会を実施できたらと思う。その際、8に書いたような映像やその方のプロフィール映像等を観せておきたい。